循環型の地域社会を目指して

猪苗代町は、豊かな緑や清らかな水に恵まれ、雄大な自然が脈々と息づいている町であります。

その代表、磐梯山と猪苗代湖は、スケールの大きさ、無類の美しさから、まさに“地球が生んだ大いなる造形”と言っても過言ではないでしょう。

こうした世界に誇る美しい自然と毎日の暮らしを共にしている私たちは、人間が自然を支配するのでなく、自然と“共生する”という姿勢、そして、自然に対する愛情の心を常に持ち続けることが大切なことと考えます。

この恵み豊かな猪苗代の良さと価値を再確認し、他地域ではなかなか見られないこれらの優位性を最大限に活かし、町民の方々や将来の子供たちが、安心して健康的で文化的な生活を営むことができる地域社会を築くため、地域内に存在する「人、もの、情報」など有形、無形のあらゆる資源を結合させ、そして循環させ、地域の自立を図る循環型の地域社会の構築、いわゆる「有機の里」構想を推進し、猪苗代の将来像である「美しい”いなわしろ”の創造」の実現を図ってまいります。

本書は、本町のまちづくりの基本方針である、「人づくり」「暮らしづくり」「産業づくり」「基盤づくり」の四つの施策の方向性をお示ししましたので、本町をご理解いただく資料としてご覧いただければ幸いです。

平成14年3月

猪苗代町長　津　金　要　雄